令和７年度

一般会計決算討論

賛成多数で可決

賛成　市民生活を支え将来に備える決算

青藍会　板倉 篤 議員

令和7年度決算は、税収増や収納率向上、RPAによる業務効率化に加え、子育て・福祉・防災などで一定の成果が見られた。今後も財源を有効活用し、市民サービスの充実と持続可能な財政運営につなげることを期待する。

なお、議決前着工という重大な問題については再発防止策の徹底と実効性の検証を強く求め、決算認定に賛成する。

反対　適正な手続と説明責任を

チームふじみ野　鈴木 啓太郎 議員

下福岡城山公園の土地購入では、必要性や価格の妥当性について説明が尽くされていない。福岡中学校工事など16件に及んだ議決・契約抜きの工事着手では、全容や責任の所在が明らかになっていない。さらに、約56億円の基金の債券運用では、長期保有による流動性やリスク管理に課題がある。市民の財産を守るため、適正な手続、十分な検証と説明責任を求める。

賛成　持続可能な市政を支える財政運営を

公明党　鈴木 美恵 議員

実質収支は約22億3千万円の黒字、財政調整基金残高は約36億5600万円で、収納率は約99.6％となり、財政は安定している。一方、経常収支比率は98.3％と高く、将来負担への備えが重要である。物価高騰対応をはじめ、子育て・教育、防犯・防災、環境、公共施設整備など市民生活に必要な分野の事業推進と市誕生20周年記念事業を評価し、持続可能な財政運営を求める。

反対　市民生活支援の物価高騰対策不十分

日本共産党　塚越 洋一 議員

物価高騰で苦しい市民生活を支援するための対策が国からの財源枠の範囲にとどまり、市独自の財源投入が極めて不十分である。なんのための基金なのか。

工事契約変更の法律違反を含む決算は承認できない。行き過ぎた民営化により採算と利益が優先され、安定的継続性が危うくなっている。公共を取り戻すことが喫緊の課題だ。

賛成　市民に寄り添い将来を見据えた決算

会派に属さない議員　民部 佳代 議員

がん患者や医療的ケア児に対する事業など、市民に寄り添う事業を行った。

資材高騰等の中でも公共工事は計画通り完了した。一部手続の瑕疵はあったが、市民の財政的負担はない。上野台小学校用地取得も優位な価格で実現した。

金利上昇を見据え利子負担を抑制、基金も約6割が現金であり損切りリスクはなく健全である。

賛成　成果を数字で検証し、次の改善へ

会派に属さない議員　金濵 高顕 議員

市税の不納欠損額が減少し、時効による不納欠損がなかったことを評価する。生活保護世帯の子どもの進路選択支援事業では支援が始まり、進学等の成果も確認できた。元気・健康マイレージ事業では新規参加者が増え、GIGAスクールでも端末活用が伸びた。事業の実施だけで終わらず、成果を数字で検証し、次の改善につなげる行政運営を期待する。

条例改正
賛成多数で可決

施設の集約化による子育て支援の充実

市立子育て支援センター条例の一部改正

条例の一部が改正され、霞ケ丘子育て支援センターが閉室される予定です。上野台、大井の両センターの事業計画や目標について質疑が行われました。

問　集約により上野台、大井子育て支援センターの職員体制に変更は。

答　現在、両子育て支援センターの職員体制を変えることは考えていない。

問　両子育て支援センターの事業の拡充は。

答　霞ケ丘子育て支援センターに派遣されていた人材を、両子育て支援センターにおける事業実施の拡充・充実に充てていきたいと考えている。

問　利用者への周知は。

答　上野台、大井子育て支援センターで引き続き利用できることをお話ししたい。

また、霞ケ丘子育て支援センターの近くにあるサービスセンターの1階に子育てふれあい広場があり、様々なイベント、講座、相談も受けていることを案内する。

問　出前子育てサロンと子育て支援センターの機能の違いは。

答　出前子育てサロンでは、相談だけではなく、様々なイベントなどを行っている。これは、子育て支援センターを知るきっかけづくりと考えている。



閉室予定の霞ケ丘子育て支援センター

補正予算
賛成多数で可決

旭ふれあいセンター改修で利便性向上へ

令和8年度一般会計補正予算（第3号）

旭ふれあいセンターと旧大井商工会館の改修に向け、外壁や屋上防水、LED化などの工事費を含む補正予算が計上されました。

問　主な改修内容は。

答　旧大井商工会館の間仕切りの設置を行うほか、旭ふれあいセンター施設内のLED化、屋上防水の工事、外壁改修、施設裏面の階段の撤去作業、またトイレの改修も行う予定である。

問　工事のスケジュールは。

答　設計業務、部屋の間仕切り、足場の設置は今年度中に行う。繰越しにより2年かけ、令和9年2月、3月からスタートする。

問　施設裏面の階段を撤去する理由は。

答　老朽化し危ないことと、今回の改修工事にも影響するため撤去する。消防本部からは、ほかに避難経路が確保できているのであれば、撤去は問題ないとの回答をもらった。

問　間仕切り後に空く部屋は、貸室として利用するのか。

答　現時点では、どのような利用かまでは決まっていない。様々な活用方法があるため、今後検討していきたい。



さらに親しまれる施設へ